

各地区剣道連盟会長 殿

夏に向かい高温多湿になるため、熱中症も懸念されます。添付資料をご覧ください、指導者は、稽古中における所属会員の健康状態に十分に気を配り、面を外す機会を増やしたり、こまめな水分補給をおこなうなど配慮や工夫をお願いいたします。

また、別添のとおり、全日本剣道連盟の「剣道における熱中症報告システム」に基づき、2020年6月17日～9月30日の間、熱中症発生状況について、各会員から直接システムを利用して全日本剣道連盟に報告することとなっております。ただし、入院を伴う熱中症の場合は、「剣道重大事故」として香川県剣道連盟から報告することになっていますので香川県剣道連盟まで報告してください。

お手数おかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。

【補足】

稽古再開における面マスク・シールド着用の徹底について

すでに周知のとおりですが、面マスクを着用した場合、飛沫の飛散は90%近く抑制されますが、シールドだけの場合、約70%の抑制効果です。シールドと面マスクを組み合わせることで、飛沫の飛散は約95%近く抑制されます。

よって、シールドを着用したからと言って面マスクを省略していいわけではなく、面マスクとシールドの併用について、再度、所属会員に周知されますようお願いいたします。

香川県剣道連盟会長